

注3

大学番号：国066

[平成28年度設置]

計画の区分：：研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

山口大学大学院 人文科学研究科 人文科学専攻

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人山口大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画戦略部企画・評価課企画係

職名・氏名 副課長（併：企画係長） ツチダ マコト
土田 誠

電話番号 083-933-5956

（夜間） 083-933-5956

F A X 083-933-5959

e-mail sh041@yamaguchi-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人文科学研究科

<人文科学専攻>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	22

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山口大学

(2) 大学名

山口大学

(3) 大学の位置

〒753-8511
山口県山口市吉田1677-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オカ マサアキ) 岡 正朗 (平成26年4月1日)		
研究科長	(タカギ サトミ) 高木 智見 (平成28年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	学位又は学科の 分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	收容定員	
人文科学研究科 人文科学専攻(修士課程) 修士(文学)	文学関係	2 年	8 人	16 人	基礎となる学部等 人文学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	8人 (-) [-]	人	8人 (-) [-]	人	人 () []	人	0.43倍	
志願者数	2 (-) [-]	() []	6 (1) [1]	() []	() []	() []		
受験者数	2 (-) [-]	() []	5 (1) [0]	() []	() []	() []		
合格者数	2 (-) [-]	() []	5 (1) [0]	() []	() []	() []		
B 入学者数	2 (-) [-]	() []	5 (2) [0]	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	0.25		0.62					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 2	[] () -	[-] (-) 5	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[-] (-) 2	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()
計	[-] (-) 2	[] ()			[-] (-) 7	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	2人	0人	平成28年度	0人	0人		0%
			平成29年度	0人	0人		
				人	人		
平成29年度 入学者	5人	0人	平成29年度	0人	0人		0%
				人	人		
				人	人		
合計	7人	0人					0%

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学者数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人文科学研究科 人文科学専攻（修士課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	人文科学総論	1前	2			23 26	17 19 17	3			兼2 教育効果を高めるため、担当教員を追加(29) 担当教員の退職及び採用に伴う変更(29) 具体的な担当教員の確定による変更(28) オムニバス
	知的財産特論	1前 1後	1			1					兼1 教育効果を高めるため、担当教員及び開講期変更(28)
	研究者行動規範特論	1前 1後	1			1					兼2 教育効果を高めるため、開講期変更(29)
思想研究コース	中国哲学思想論	1前 未開講 1前 1前 未開講		2		1					通常開講(29) 履修希望者がいなかったため(28)
	中国哲学思想論演習(出土文献)	1前		2		1					通常開講(29) 履修希望者がいなかったため(28)
	中国哲学思想論演習(伝世文献)	1後		2		1					
	西洋哲学思想論(哲学)	1後 未開講 1前		2		1					教育効果を高めるため、開講期変更(29) 履修希望者がいなかったため(28)
	西洋哲学思想論演習(哲学の歴史)	1前 未開講		2		1					通常開講(29) 履修希望者がいなかったため(28)
	西洋哲学思想論演習(哲学の理論)	1後		2		1					
	西洋哲学思想論(倫理学)	1後 未開講 1前		2		1		1			通常開講(29) 履修希望者がいなかったため(28)
	西洋哲学思想論演習(倫理学の歴史)	1前 未開講		2		1		1			通常開講(29) 履修希望者がいなかったため(28)
	西洋哲学思想論演習(倫理学の理論)	1後 未開講 1前		2		1		1			通常開講(29) 履修希望者がいなかったため(28)
	日本思想論(古代中世)	1前 未開講 1前		2		1					通常開講(29) 履修希望者がいなかったため(28)
	日本思想論演習(古代中世・信仰)	1前 未開講		2		1					通常開講(29) 履修希望者がいなかったため(28)
	日本思想論演習(古代中世・文芸)	1後		2		1					
	日本思想論(近世)	1後		2			1				
	日本思想論演習(近世・学問)	1前		2			1				
	日本思想論演習(近世・文芸)	1後		2			1				
	宗教思想論	1後 未開講 1前		2		1					通常開講(29) 履修希望者がいなかったため(28)
	宗教思想論演習(理論)	1前 未開講		2		1					通常開講(29) 履修希望者がいなかったため(28)
	宗教思想論演習(応用)	1後		2		1					
	芸術論(美学)	1前 未開講 1前		2			1				通常開講(29) 履修希望者がいなかったため(28)
	芸術論演習(近代美学)	1前 未開講		2			1				通常開講(29) 履修希望者がいなかったため(28)
芸術論演習(現代美学)	1後		2			1					
芸術論(美術史)	1後		2		1						

		1前 未開講								通常開講 (29) 履修希望者がいなかったため (28)	
	芸術論演習 (近代美術史)	1前	2		1						
	芸術論演習 (現代美術史)	1後	2		1						
		未開講								履修希望者がいなかったため (29)	
	思想研究演習 (前期)	2前	2		5	3				履修希望者がいなかったため (29)	
		未開講								履修希望者がいなかったため (29)	
	思想研究演習 (後期)	2後	2		5	3					
歴史 研究 コー ス		未開講								履修希望者がいなかったため (28)	
	日本歴史論 (古代)	1前	2		1					通常開講 (29) 履修希望者がいなかったため (28)	
		1前 未開講								履修希望者がいなかったため (28)	
		1前								教育効果を高めるため、開講期変更 (28)	
	日本歴史論 (中世)	1後	2		1						
	日本歴史論 (近世)	1前	2			1					
	日本歴史論 (近現代)	1後	2		1						
		未開講									履修希望者がいなかったため (28)
	日本歴史論演習 (古代の政治)	1前	2		1						
		未開講									履修希望者がいなかったため (29)
	日本歴史論演習 (古代の社会)	1後	2		1						
		未開講									履修希望者がいなかったため (28)
	日本歴史論演習 (中世の政治)	1前	2		1						
	日本歴史論演習 (中世の社会)	1後	2		1						
		1前 未開講									通常開講 (29) 履修希望者がいなかったため (28)
	日本歴史論演習 (近世の政治)	1前	2			1					
	日本歴史論演習 (近世の社会)	1後	2			1					
		未開講									履修希望者がいなかったため (28)
	日本歴史論演習 (近現代の政治)	1前	2		1						
	日本歴史論演習 (近現代の社会)	1後	2		1						
		1前 1後									教育効果を高めるため、担当教員及び開講期変更 (29) 教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
	中国歴史論 (古代・中世)	1前 1後	2		1					兼 1	教育効果を高めるため、開講期変更 (29) 履修希望者がいなかったため (28)
		未開講									教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
	中国歴史論 (近世・近代)	1前 1後	2		1						通常開講 (29) 履修希望者がいなかったため (28)
		未開講									履修希望者がいなかったため (28)
	中国歴史論演習 (古代・中世の政治)	1前	2		1					兼 1	教育効果を高めるため、担当教員変更 (29)
中国歴史論演習 (古代・中世の社会)	1後	2		1					兼 1	教育効果を高めるため、担当教員変更 (29)	
	未開講									履修希望者がいなかったため (29)	
中国歴史論演習 (近世・近代の政治)	1後	2		1						教育効果を高めるため、開講期変更 (28)	
中国歴史論演習 (近世・近代の社会)	1前 1後	2		1						教育効果を高めるため、開講期変更 (29)	
	未開講									通常開講 (29) 履修希望者がいなかったため (28)	
西洋歴史論 (ヨーロッパ)	1前	2			1						
	1前									教育効果を高めるため、開講期変更 (29)	
西洋歴史論 (アメリカ)	1後	2		1						履修希望者がいなかったため (29)	
	未開講									教育効果を高めるため、開講期変更 (28)	
西洋歴史論演習 (ヨーロッパの政治)	1後	2			1						
西洋歴史論演習 (ヨーロッパの社会)	1前 1後	2			1					履修希望者がいなかったため (29)	
	未開講									教育効果を高めるため、開講期変更 (28)	
西洋歴史論演習 (アメリカの政治)	1後	2		1							
西洋歴史論演習 (アメリカの社会)	1前 1後	2		1						教育効果を高めるため、開講期変更 (29)	
	未開講									履修希望者がいなかったため (29)	
先史考古論 (遺物・遺構)	1前	2			1					教育効果を高めるため、開講期変更 (29)	

		1前 未開講								通常開講 (29) 履修希望者がいなかったため (28) 教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
	比較考古論 (政治・社会)	1前 1後	2		1					履修希望者がいなかったため (29) 教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
	先史考古論演習 (遺物)	1前	2			1				履修希望者がいなかったため (29) 教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
	先史考古論演習 (遺構)	1後	2			1				履修希望者がいなかったため (29) 教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
	比較考古論演習 (政治)	1前	2		1					履修希望者がいなかったため (29) 教育効果を高めるため、担当教員を追加 (29) 具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	比較考古論演習 (社会)	1後	2		1					履修希望者がいなかったため (29) 教育効果を高めるため、担当教員を追加 (29) 具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	歴史研究演習 (前期)	未開講 2前 未開講	2		3 4		4	2		兼 1 履修希望者がいなかったため (29) 具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	歴史研究演習 (後期)	2後	2		3 4		4	2		兼 1 履修希望者がいなかったため (28) 教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
現代社会研究コース	現代社会変動論 (地域社会学)	未開講 1前	2		1					履修希望者がいなかったため (28) 通常開講 (29)
	現代社会変動論 (災害社会学)	未開講 1前	2		1					履修希望者がいなかったため (28) 教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
	地域社会計画論 (福祉社会学)	未開講 1前	2			1				履修希望者がいなかったため (28) 教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
	地域社会計画論 (地域福祉)	1後	2		1		+			担当教員の昇任に伴う変更 (29) 教育効果を高めるため、開講期変更 (29) 教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
	現代コミュニケーション論 (道徳性)	1前 1後	2		1					教育効果を高めるため、開講期変更 (29) 履修希望者がいなかったため (28)
	現代コミュニケーション論 (ネットワーク)	未開講 1前	2		1					履修希望者がいなかったため (28) 教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
	現代社会意識論 (社会問題)	未開講 1前	2			1				通常開講 (29) 履修希望者がいなかったため (28) 教育効果を高めるため、担当教員変更 (28)
	現代社会意識論 (逸脱)	1後	2			1				通常開講 (29) 履修希望者がいなかったため (28) 教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
	社会生活伝承論 (社会生活伝承)	1前	2		+	1				履修希望者がいなかったため (28) 教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
	社会生活伝承論 (現代民俗伝承)	未開講 1前	2		+	1				履修希望者がいなかったため (28) 教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
	造形伝承論 (物質文化)	未開講 1前 1後	2		+	1				履修希望者がいなかったため (28) 教育効果を高めるため、開講期変更 (28) 担当教員の退職及び採用に伴う変更 (29) 教育効果を高めるため、開講期変更 (29)
	造形伝承論 (造形伝承)	1前 1後	2		+	1				履修希望者がいなかったため (29) 教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
	現代社会分析論演習 (地域社会学研究)	未開講 1前	2		1					履修希望者がいなかったため (29) 教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
	現代社会分析論演習 (災害社会学研究)	未開講 1前	2		1					履修希望者がいなかったため (29) 教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
	現代社会分析論演習 (福祉社会学研究)	未開講 1前	2		1		+			履修希望者がいなかったため (29) 教育効果を高めるため、開講期変更 (28) 担当教員の昇任に伴う変更 (29) 教育効果を高めるため、開講期変更 (29)
	現代社会分析論演習 (地域福祉研究)	未開講 1前 1後	2		1		+			履修希望者がいなかったため (29) 教育効果を高めるため、開講期変更 (28) 担当教員の昇任に伴う変更 (29)

		1前 未開講								通常開講 (29) 履修希望者がいなかったため (28)
	現代社会分析論演習 (コミュニケーション研究)	1前		2		1				
	現代社会分析論演習 (道徳性研究)	1後		2		1				
		未開講								履修希望者がいなかったため (28)
	現代社会分析論演習 (社会問題研究)	1前		2			1			
	現代社会分析論演習 (逸脱研究)	1後		2			1			
		1後								
	現代社会分析論演習 (社会生活伝承研究)	1前		2		1		1		教育効果を高めるため、担当教員及び開講期変更 (28)
	現代社会分析論演習 (現代民俗伝承研究)	1後		2		1		1		教育効果を高めるため、担当教員変更 (28)
		未開講								担当教員の退職及び採用に伴う変更 (29) 履修希望者がいなかったため (29)
		1後								教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
	現代社会分析論演習 (物質文化研究)	1前		2		1		1		
	現代社会分析論演習 (造形伝承研究)	1後		2		1		1		担当教員の退職及び採用に伴う変更 (29)
		1後								教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
	社会調査法演習 (調査企画・設計)	1前		2		1				
		1前								教育効果を高めるため、担当教員及び開講期を変更 (29)
	社会調査法演習 (多変量解析)	1後		2		1		1		担当教員の昇任に伴う変更 (29)
	社会調査法演習 (質的調査法)	1後		2		1		1		担当教員の昇任、退職及び採用に伴う変更 (29) 履修希望者がいなかったため (29)
		未開講						3		教育効果を高めるため、担当教員変更 (28)
	現代社会研究演習 (前期)	2前	2			3		4		
		未開講				4		3		担当教員の昇任、退職及び採用に伴う変更 (29) 履修希望者がいなかったため (29)
		未開講						3		教育効果を高めるため、担当教員変更 (28)
	現代社会研究演習 (後期)	2後	2			3		4		
		未開講				4		3		教育効果を高めるため、担当教員変更 (28)
日 本 ・ 中 国 言 語 文 学 研 究 コ ー ス	日本語論 (古代語)	1前		2				1		
	日本語論 (現代語)	1後		2		1				
	日本語論演習 (古代語研究)	1後								教職課程認定申請時の指摘事項 に対応するため、科目名変更 (28)
	日本語論演習 (古代語—研究法—)	1前		2				1		教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
	日本語論演習 (古代語文献講読)	1前								教職課程認定申請時の指摘事項 に対応するため、科目名変更 (28)
	日本語論演習 (古代語—論文作成—)	1後		2				1		教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
	日本語論演習 (現代語研究)	1前								教職課程認定申請時の指摘事項 に対応するため、科目名変更 (28)
	日本語論演習 (現代語—研究法—)	1前		2		1				教職課程認定申請時の指摘事項 に対応するため、科目名変更 (28)
	日本語論演習 (現代語文献講読)	1後		2		1				教職課程認定申請時の指摘事項 に対応するため、科目名変更 (28)
	日本語論演習 (現代語—論文作成—)	1前								通常開講 (29) 履修希望者がいなかったため (28)
		未開講								
	日本文学論 (中古)	1前		2		1				
	日本文学論 (近世)	1前		2				1		
	日本文学論 (近代)	1後		2				1		
	日本文学論 (近現代)	1後		2		1				
	日本文学論演習 (中古文学研究)	1後								教職課程認定申請時の指摘事項 に対応するため、科目名変更 (28)
	日本文学論演習 (中古—研究法—)	1前		2		1				教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
	日本文学論演習 (中古文学講読)	1前								教職課程認定申請時の指摘事項 に対応するため、科目名変更 (28)
	日本文学論演習 (中古—論文作成—)	1後		2		1				教育効果を高めるため、開講期変更 (28)
	日本文学論演習 (近世文学研究)	1後								教職課程認定申請時の指摘事項 に対応するため、科目名変更 (28)
日本文学論演習 (近世—研究法—)	1前		2				1		教育効果を高めるため、開講期変更 (28)	
日本文学論演習 (近世文学講読)	1前								教職課程認定申請時の指摘事項 に対応するため、科目名変更 (28)	
日本文学論演習 (近世—論文作成—)	1後		2				1		教育効果を高めるため、開講期変更 (28)	
日本文学論演習 (近代文学研究)	1前								教職課程認定申請時の指摘事項 に対応するため、科目名変更 (28)	
日本文学論演習 (近代—研究法—)	1前		2				1		教育効果を高めるため、開講期変更 (28)	
日本文学論演習 (近代文学講読)	1前								教職課程認定申請時の指摘事項 に対応するため、科目名変更 (28)	
日本文学論演習 (近代—論文作成—)	1後		2				1		教育効果を高めるため、開講期変更 (28)	

		1前								通常開講 (29)	
		未開講								履修希望者がいなかったため (28)	
英米文学論演習 (イギリス・19世紀以前)		1前	2		1						
英米文学論演習 (イギリス・20世紀以後)		1後	2		1						
		1前								通常開講 (29)	
		未開講								履修希望者がいなかったため (28)	
英米文学論演習 (アメリカ・19世紀以前)		1前	2		4	1				教育効果を高めるため、担当教員変更 (28)	
英米文学論演習 (アメリカ・20世紀以後)		1後	2		4	1				教育効果を高めるため、担当教員変更 (28)	
		1前								通常開講 (29)	
		未開講								履修希望者がいなかったため (28)	
欧州語比較・対照言語論 (独語系)		1前	2			1					
欧州語比較・対照言語論 (仏語系)		1後	2		1						
		1前								通常開講 (29)	
		未開講								履修希望者がいなかったため (28)	
欧州語比較・対照言語論演習 (独英語)		1前	2			1					
欧州語比較・対照言語論演習 (ゲルマン諸語)		1後	2			1					
		1前								通常開講 (29)	
		未開講								履修希望者がいなかったため (28)	
欧州語比較・対照言語論演習 (仏英語)		1前	2		1						
欧州語比較・対照言語論演習 (ロマンス諸語)		1後	2		1						
		1後								教育効果を高めるため、開講期変更 (29)	
		未開講								履修希望者がいなかったため (28)	
欧州文学・比較文学論 (独語系)		1前	2		1						
		1前								通常開講 (29)	
		未開講								履修希望者がいなかったため (28)	
		1前								教育効果を高めるため、開講期変更 (28)	
欧州文学・比較文学論 (仏語系)		1後	2			1					
		1前								通常開講 (29)	
		未開講								履修希望者がいなかったため (28)	
欧州文学・比較文学論演習 (独語系文学)		1前	2		1						
欧州文学・比較文学論演習 (独語系文化)		1後	2		1						
		1前								通常開講 (29)	
		未開講								履修希望者がいなかったため (28)	
欧州文学・比較文学論演習 (仏語系文学)		1前	2			1					
欧州文学・比較文学論演習 (仏語系文化)		1後	2			1					
		1後								教育効果を高めるため、開講期変更 (29)	
言語論 (言語構造論)		1前	2			1					
		1前								通常開講 (29)	
		未開講								履修希望者がいなかったため (28)	
言語論演習 (言語構造)		1前	2			1					
言語論演習 (言語類型)		1後	2			1					
		1前								通常開講 (29)	
		未開講								履修希望者がいなかったため (28)	
言語論 (言語情報論)		1前								教育効果を高めるため、開講期変更 (28)	
		2後	2			1					
		1前								通常開講 (29)	
		未開講								履修希望者がいなかったため (28)	
言語論演習 (言語文法処理)		1前	2			1					
言語論演習 (言語情報処理)		1後	2			1					
		未開講								履修希望者がいなかったため (29)	
欧米言語文学演習 (前期)	2	2前			7	5				具体的な担当教員の確定による変更 (28)	
		未開講			8	4					
		2前			7	5				履修希望者がいなかったため (29)	
欧米言語文学演習 (後期)	2	2後			8	4				具体的な担当教員の確定による変更 (28)	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
13	145	0	158	13	145	0	158	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	413,643 m ²	m ²	m ²	413,643 m ²				
	運動場用地	127,053 m ²	m ²	m ²	127,053 m ²				
	小 計	540,696 m ²	m ²	m ²	540,696 m ²				
	そ の 他	64,370 m ²	m ²	m ²	64,370 m ²				
	合 計	605,066 m ²	m ²	m ²	605,066 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		413,643 m ² (413,643 m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	413,643 m ² (413,643 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		103室	745室	787室	5室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		人文科学研究科人文科学専攻			49 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	人文科学研究科 人文科学専攻	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
	計	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		13,063m ²		1590	1501056				
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		6,956m ²		陸上競技場, 野球場, サッカー場 他					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費（運営費交付金）
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学							備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.04	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.05	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.00	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.07	平成18年度		
医学部								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.02	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.05	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.02	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.02	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.04	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.05	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.02	平成13年度		

共同獣医学部 獣医学科	6	30	-	150	学士 (獣医学)	1.03	平成24年度	山口県山口市吉田1677番地1
国際総合科学部 国際総合科学科	4	100	-	200	学士 (学術)	1.04	平成27年度	山口県山口市吉田1677番地1
人文科学研究科 人文科学専攻	2	8	-	8	修士 (文学)	0.43	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1
教育学研究科 学校教育専攻	2	10	-	23	修士 (教育学)	1.20	平成3年度	山口県山口市吉田1677番地1
教科教育専攻	2	17	-	45	修士 (教育学)	1.14	平成3年度	
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士 (専門職)	1.03	平成28年度	
経済学研究科 経済学専攻	2	16	-	32	修士 (経済学)	0.74	昭和50年度	山口県山口市吉田1677番地1
企業経営専攻	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.55	平成7年度	
医学系研究科 (医学博士) 医学専攻	4	33	-	33	博士 (医学)	1.05	平成28年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
医学系研究科 (博士前期) 保健学専攻	2	12	-	24	修士 (保健学)	1.20	平成17年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号
医学系研究科 (博士後期) 応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士 (医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士 (生命科学, 学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士 (保健学)	0.80	平成19年度	
創成科学研究科 (博士前期) 基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士 (理学)	0.89	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1
地球圏生命物質科学系専攻	2	42	-	42	修士 (理学)	1.01	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
化学系専攻	2	83	-	83	修士 (工学, 学術)	0.92	平成28年度	
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士 (工学)	1.01	平成28年度	
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士 (工学)	1.00	平成28年度	
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士 (工学, 学術)	0.78	平成28年度	
農学系専攻	2	42	-	42	修士 (農学, 生命科学)	0.74	平成28年度	
創成科学研究科 (博士後期) 自然科学系専攻	3	7	-	7	博士 (理学, 学術)	0.49	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士 (工学, 学術)	0.31	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士 (工学, 学術)	0.75	平成28年度	
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士 (工学, 学術)	0.95	平成28年度	
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士 (薬工学, 生命科学, 学術)	1.00	平成28年度	
理工学研究科 (博士後期) 自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士 (理学, 工学, 学術)	-	平成18年度	山口県山口市吉田1677番地1
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士 (工学, 学術)	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士 (工学, 学術)	-	平成18年度	
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士 (工学, 学術)	-	平成18年度	
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士 (工学, 理学, 学術)	-	平成18年度	
東アジア研究科								山口県山口市吉田1677番地1

東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.53	平成13年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号 【山口大学】 山口県山口市吉田1677番地1 【鳥取大学】 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101 【鹿児島大学】 鹿児島県鹿児島市郡元1丁目21番24号
技術経営研究科 技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.00	平成17年度	
連合獣医学研究科 獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.70	平成2年度	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人文科学研究科 人文科学専攻（修士課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授	藤永康政	平成28年4月	人文科学総論 西洋歴史論(アメリカ) 西洋歴史論演習(アメリカの政治) 西洋歴史論演習(アメリカの社会) 歴史研究演習(前期) 歴史研究演習(後期)	専	教授	竹中幸史	平成28年10月	人文科学総論 西洋歴史論(アメリカ) 西洋歴史論演習(アメリカの政治) 西洋歴史論演習(アメリカの社会) 歴史研究演習(前期) 歴史研究演習(後期)	平成28年3月 藤永康政教授辞職のため辞退(28) 平成28年10月 竹中幸史教授新規採用(29)
専	教授	坪郷英彦	平成28年4月	人文科学総論 造形伝承論(物質文化) 造形伝承論(造形伝承) 現代社会分析演習(物質文化研究) 現代社会分析演習(造形伝承研究) 現代社会研究演習(前期) 現代社会研究演習(後期)	専	准教授	山口(加藤) 陸	平成29年4月	人文科学総論 造形伝承論(物質文化) 造形伝承論(造形伝承) 現代社会分析演習(物質文化研究) 現代社会分析演習(造形伝承研究) 現代社会研究演習(前期) 現代社会研究演習(後期)	平成29年3月 坪郷英彦教授辞任(29) 平成29年4月 山口 陸准教授新規採用(29)
専	准教授	岡邊 健	平成28年4月	人文科学総論 現代社会意識論(社会問題) 現代社会意識論(逸脱) 現代社会分析演習(社会問題研究) 現代社会分析演習(逸脱研究) 社会意識論演習(多変量分析) 現代社会研究演習(前期) 現代社会研究演習(後期)			後任未定			平成29年3月 岡邊 健准教授辞任(29) 「後任未定」平成29年10月 から専任教員採用予定で 公募中(選考中)。
専	准教授	赤羽仁志	平成28年4月	人文科学総論 英米語論(総論) 英米語論演習(構文研究) 英米語論演習(統語理論) 欧米言語文学演習(前期) 欧米言語文学演習(後期)	専	教授	上田由紀子	平成28年4月	人文科学総論 英米語論(総論) 英米語論演習(構文研究) 英米語論演習(統語理論) 欧米言語文学演習(前期) 欧米言語文学演習(後期)	平成27年3月 赤羽仁志准教授辞職のため辞退(28) 平成28年4月 上田由紀子教授新規採用(28)
					専	准教授	野坂 昭雄	平成28年4月	人文科学総論 日本文学論(近代) 日本文学論演習(近代文学研究) 日本文学論演習(近代文学講読) 日本・中国言語文学演習(前期) 日本・中国言語文学演習(後期)	平成27年4月 教員陣容の強化を図るため 新規採用(28)
					専	准教授	谷部 真吾	平成28年4月	人文科学総論 社会生活伝承論(現代民俗伝承) 現代社会分析演習(現代民俗伝承) 現代社会研究演習(前期) 現代社会研究演習(後期)	平成27年7月 教員陣容の強化を図るため 新規採用(28)
					専	准教授	小林 宏至	平成28年4月	人文科学総論 社会生活伝承論(社会生活伝承) 現代社会分析演習(社会生活伝承) 現代社会研究演習(前期) 現代社会研究演習(後期)	平成28年4月 教員陣容の強化を図るため 新規採用(28)
					専	准教授	外山 健二	平成28年4月	人文科学総論 英米語論(総論) 英米語論演習(構文研究) 英米語論演習(統語理論) 欧米言語文学演習(前期) 欧米言語文学演習(後期)	平成28年4月 教員陣容の強化を図るため 新規採用(28)

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
3	2	2
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
26	17	3	0	46	24	18	3	0	45	24	18	3	0	45
(23)	(19)	(3)	()	(45)						[Δ2]	[1]	[0]	[]	[Δ 1]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
26	20	46			24	21	45			24	21	45		
(23)	(22)	(45)								[Δ2]	[1]	[Δ 1]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	藤永康政	必修	人文科学総論	①	平成28年3月31日付け辞職のため辞退（28）	
			選択	西洋歴史論（アメリカ）	①		
			選択	西洋歴史論演習（アメリカの政治）	①		
			選択	西洋歴史論演習（アメリカの社会）	①		
			必修	歴史研究演習（前期）	①		
			必修	歴史研究演習（後期）	①		
2	准教授	赤羽仁志	必修	人文科学研究科	①	平成27年3月31日付け辞職のため辞退（28）	
			選択	英米語論（総論）	①		
			選択	英米語論演習（構文研究）	①		
			選択	英米語論演習（統語理論）	①		
			必修	欧米言語文学演習（前期）	①		
			必修	欧米言語文学演習（後期）	①		
合計（A）				後任補充状況の集計（B）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
2	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目
		選択	6 科目	選択	6 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	12 科目	計	12 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	坪郷英彦	必修	人文科学総論	①	平成29年3月31日限り定年退職のため辞任（29）	
			選択	造形伝承論（物質文化）	①		
			選択	造形伝承論（造形伝承）	①		
			選択	現代社会分析論演習（物質文化研究）	①		
			選択	現代社会分析論演習（造形伝承研究）	①		
			必修	現代社会研究演習（前期）	①		
2	准教授	岡邊健	必修	人文科学総論	③	平成29年3月31日付け辞職のため辞任（29）	
			選択	現代社会意識論（社会問題）	③		
			選択	現代社会意識論（逸脱）	③		
			選択	現代社会分析論演習（社会問題研究）	③		
			選択	現代社会分析論演習（逸脱研究）	③		
			選択	社会調査法演習（多変量解析）	③		
			必修	現代社会研究演習（前期）	③		
			必修	現代社会研究演習（後期）	③		
合計（C）				後任補充状況の集計（D）			
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
2	人	必修	6 科目	必修	3 科目	必修	0 科目
		選択	9 科目	選択	4 科目	選択	5 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	15 科目	計	7 科目	計	8 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計(A) + (C)			後任補充状況の集計(B) + (D)									
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)			①の合計数(a)			②の合計数(b)			③の合計数(c)		
	4 人	必修	12	科目	必修	9	科目	必修	0	科目	必修	3
選択		15	科目	選択	10	科目	選択	0	科目	選択	5	科目
自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
計		27	科目	計	19	科目	計	0	科目	計	8	科目

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」
 後任補充済み若しくは後任補充の予定であり、支障はないと考える。
 「学生への周知方法」
 在学生には、4月のオリエンテーションの際に周知している。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<人文科学研究科 人文科学専攻（修士課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD部会を設置し、FD研修の企画・実施を行っている。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 必要に応じて開催している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FDの推進に関する実施計画 ・教員研修の実施計画 ・教育内容や方法等の改善策 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 人文科学研究科授業アンケートの実施 平成29年2月20日 人文学部FD部会主催研修会（大学院科目「人文科学総論」内容検討会） 平成29年3月19日</p> <p>b 実施方法 FD部会を中心に実施している。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 平成29年2月20日 院生8名中7名のアンケートを回収 平成29年3月19日 39名出席</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 研修を通じ全教員が本研究科が養成する人材について、理解を深め、共通認識を持った上で授業を運営出来るよう、意見交換を行った。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 各期末毎に実施している。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 アンケート終了後、担当教員のみ結果を通知している。</p>

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>平成28年度に開設し、現在まで順調に推移している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおりに実施していきたい。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>・平成30年3月 公表予定</p> <p>b 公表方法</p> <p>・山口大学活動白書を作成し、大学ホームページにて公開を行う予定。</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>・平成27年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による機関別認証評価を受審。次回受審年度は、検討中。</p>
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (29 年 9 月 1 日)</p>
